



第2660地区



WEEKLY REPORT

# 大阪船場ロータリークラブ

OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

創立 昭和63年(1988)5月23日

事務所 大阪市中央区西心斎橋1-7-3(〒542-0086) 北炭屋町ビル

Tel. (06)6244-1008 Fax. (06)6244-1010

<http://www4.ocn.ne.jp/~sembarc/> E-mail: [sembarc@ocn.ne.jp](mailto:sembarc@ocn.ne.jp)

例会 毎週月曜日・12時30分

ホテル日航大阪 Tel. (06)6244-1111

会長: 清水清一 幹事: 塩尻明夫 会報広報委員長: 松永 修

四つのテスト/言行はこれに照してから

I. 真実かどうか . みんなに公平か

. 好意と友情を深めるか . みんなの為になるかどうか

第1137回 例会 2013年(平成25年)12月2日

(家族月間)

## 本日のプログラム

(本日のプログレス 斧原 秀夫 副SAA)

- ロ - タリ - ソング 「君が代」「船場ソング」
- 会長の時間 幹事報告 委員会報告 ニコニコ箱報告 出席報告
- 12月お誕生月会員お祝い
- 卓 話 「なぜ生きる」 松谷 廣信 会員
- 理事会 「コロッセオ」 18:00 ~

## 前回(11月25日)例会記録

プログレス 平山 明彦 SAA

1. 来客紹介 岡本 真太郎 親睦委員

ゲスト: 0名 地区外: 0名 地区内: 4名 合計: 4名

2. 会長の時間 清水 清一 会長

- ・ もろびとこぞりて
- ・ あわてんぼうのサンタクロース
- ・ あめのみっかい



9月初めの会長の時間にお話をしましたIM7組の共

同事業について今後どのように進めて行くかを述べさせていただきます。

先の会合で共同事業を推進しようという案が決められ、当クラブがホストクラブとしてその事業案の作成をいたしました。

当初は東北復興支援を基本とした事業を考えておりましたが、アンケートを頂いた結果6つのクラブが支援事業を行っていないとのことでした。再度我々も検討を重ね、地域の中での活動も視野に入れ、一つのイベントを考えました。

大阪府、大阪市が来年5月に開催する「御堂筋カップ」、又は「船場フォーラム2014」(10周年記念フォーラム)3月15日北御堂で開催の日に合わせ、一つのイベントを行いたいと思

っています。船場元気の会ともコラボを図りながら、IM7組の各クラブの活動のPR展示等も考えています。同時に東北地区のNPO法人と連携した復興支援物産や三陸の物産販売、又、減災に関する物品の販売等考えた計画にしたいと思っています。この計画を共同事業として会長幹事会に提示しようと思っていますが、まずは我々クラブでの御理解を頂きたく、又、皆様の意見等も頂戴したいと思ってお話を致しました。ちなみに前年度は難波ロータリークラブがホストとして「トンボリウォーク」の開催を行っておりますので我々も率先して計画を推進したいと考えています。

### 3. 委員会報告

#### 国際奉仕委員会 澤田 宗久 会員

いつも、歯科医療奉仕活動に御理解、ご支援いただきありがとうございます。24日(日)フィリピン共和国・カオハガン島より参加者全員、無事帰国いたしました。今回は、歯科医師6名、歯科衛生士8名、総勢14名で活動を行い、多くの島民とその子ども達を治療いたしました。出発に際しましては、タイムリーに宮原会員から携帯用の水だけで点く電灯をご寄附して頂きました。台風30号がレイテ島を襲い多大なる被害がございました、その電灯を現地に寄附しましたところ、大変喜ばれました。我々が活動を行っているカオハガン島にレイテ島のタクロバン市在住の佐藤千咲さんが来ていて、我々のドネーションを待っていてくれました。在庫として確保していた、歯ブラシ・毛布・薬・エンピツ・クレヨン・食料など…約120キロの物資を、彼女に託すことができました。佐藤さんは、国際協力のコンサルタントとして医療分野でJICAの仕事をしています。たまたまカオハガン島に来ていて台風の難を逃れました。レイテ島のタクロバンは、台風が直撃した所で多くの島民が亡くなった所です。キーワン(東サマール)では、住民2000人の内57名の生存者しか残らなかったそうです。佐藤さんの友人も亡くなりました。彼女は現在セブ市で働く医療関係者(医師・緊急支援スペシャリスト)5名を中核に支援活動を開始しています。既に、台風直撃後2日目に約27名の医師・看護婦・薬剤師とチームを組み、タクロバン市保健局で怪我人の応急処置、医薬品配布、コンサルテーションなどの医療支援を行っています。皆様、まだまだ台風の爪跡も酷く全ての物資が不足しております、今後共、ご寄附ご支援の程、どうか宜しくお願い致します。

### 4. ニコニコ箱報告 栗原 裕 親睦委員

澤田 会員 いつも歯科医療奉仕活動に御理解、御支援いただきありがとうございます。24日(日)にフィリピンカオハガン島から参加者14名全員無事帰国いたしました。宮原さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。台風30号の被災地に届けました。皆様大変喜んでいました。感謝。

カンターレ 会員 渡辺様、小山様、大変お世話になりました。どうもありがとうございました。

伊藤、今泉、清水、堀、栗原、斧原、片岡、渡辺、藤野、日比、新川、俣野、高階、松谷、中村、宮原、杉浦、岡本(茂)、大磯、大嶋、小島、中川、

各会員 稀勢の里 来場所に期待！

### 5. 出席報告 平山 明彦 SAA

会員総数 38名 出席率計算会員数 38名 出席員数 32名 出席率 84%

第1134回(11月11日) 修正出席率 89%

### 6. 社会奉仕フォーラム 社会奉仕委員会 松谷 廣信 委員長



フォーラムとは、話し合いをする場の提供というか、討論をすると云う事ですので、今日は、所謂、社会奉仕について、皆様でご討論頂く予定にしておりますので宜しくお願い致します。先ず、奉仕という事についてですが、一般的には、ライオンズクラブはWEサーブ、ロータリーはIサーブと言われます。所謂、ライオンズは集まった皆で力を合わせ奉仕をしましょう、ロータリーは奉仕の精神を学び、ロータリアン個々人が奉仕活動をしましょう、と云うように私は理解しています。私自身、平成10年に縁あって船場ロータリーに入会させて頂き、はや15年になります。その間、奉仕、奉仕と云う言葉を例会の都度聞かされており、私のような者でも自然と奉仕の感覚が入会前とは相当違って来ており、えらいものだと思っています。自然とIサーブが身について来たというか、以前とは格段に違って来たように感じていますし、奉仕的活動も自然と行えるようになってきました。何れにしてもロータリーに入る前と後とは奉仕に対する考え方が大きく違って来たのは事実です。そういう意味では、Iサーブと云うRCの考え方は凄いと感じています。前置きはこれくらいにして、皆さんは個々に色々な形の社会奉仕に努めておられると思われませんが、それはそれとして、今年度の船場の社会奉仕は、東北震災の復興に何らかの形でかわり、具体的に見える形にしたいと考えています。そこで数ヶ月前より、東北震災復興の中継基地として大きな役割を果たしている、遠野地区のNPO団体「遠野山・里・暮らしネットワーク」の活動を支援し、行政の手が届きにくい小規模仮設に居住する被災者やみなし仮設(古い市営住宅)の一人暮らしの老人宅訪問の支援事業を計画し、訪問介助を行う人も被災した方にお願いし、やがてはその被災者が独り立ち出来る(事業化)様に応援しようとするプログラムを考えております。今日は、社会奉仕委員会が計画しているこのプログラムを、皆さんに討論して頂きたく思いますので宜しくお願いします。

次回12月9日(月)例会予定・年次総会例会 31階「カトレア」17:00～・会員家族クリスマス懇親会 32階 18:00～